

# きたネット 北海道環境活動交流フォーラム 2019



## ▶ PROGRAM ▶▶▶

10:00 開会

10:10 基調講演1



### この世に危険生物などいない

フィールドのリスクマネジメントを考えるために  
【講師】小川 崑 氏 (エコネットワーク 代表)

クマが、スズメバチがヒトに危害を加えたとしたら、直ちに駆除の対象になってしまう。つまり殺されてしまうのが常だ。だがヒトの側の対応に問題はなかったのか、か問われることはまずない。逆にいえばヒトが充分の注意を払っていれば、ほとんどの事故は防げるのではないか? フィールドの達人に、多様な生物との距離のとり方について、お話をいただきます。

12:00 休憩



13:10

### 私たちの社会は野生生物のリスクとどう向き合うか

【コーディネーター】長谷川 理 氏 (NPO法人EnVision環境保全事務所)

講演

### 人と動物の関わりから生まれる 新たな感染症リスクとその対応 飼育動物と野生動物の区別を考える



【講師】福井 大祐 氏

(岩手大学農学部共同獣医学科 准教授、  
一般社団法人 未来を創るどうぶつ医師団 理事長)

伴侶動物、畜産動物、動物園動物といった飼育動物が持つ病原体が、自然界へ拡散するのを防止することは非常に重要です。同時に、野生動物が暮らす自然環境に存在する病原体が、飼育動物に、そして人間社会に侵出することを防ぐこともまた大切です。人と動物の健康、地球環境の健全性は一つにつながっています(ワンヘルス)。この概念をすべての生き物の生命基盤と捉え、飼育動物と野生動物の違いを踏まえつつ、共通感染症に対する早期警報とバイオセキュリティのシステムを構築することが、人間と動物の健康を守り、人と動物が共存する上での重要課題となっています。

15:15 パネルディスカッション  
「要注意生物」との共存を考える  
【パネリスト】小川 崑 氏 間野 勉 氏  
福井 大祐 氏 池田 貴子 氏 斎藤 聰 氏

16:30 伝え、拓げるために 全体交流会  
【話題提供】  
気候変動と持続可能な地域づくり  
坂本 純科 氏 (NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 理事長)

## きたネット 北海道環境活動交流フォーラム 2019

ここ数年、危惧されていた気候変動や異常気象など、自然環境の大きな変化が顕在化し、私たちの暮らしにこれまでにない被害を及ぼすようになってきています。外来生物や、新しい病原菌の活動が活性化することも予想されます。一方、都市の拡大、地方の過疎化などの社会的要因から、人の暮らしと野生生物の住み分けが崩れ、野生生物のさまざまな危険な接触、人獣共通感染症などへの危惧も高まってきています。今年は「人慣れ・街慣れグマ」が各地でさまざまな軌跡を生んでおり、避けては通れない身近な問題となっています。では、人間にとて危険な生物は駆除・排除すればよいのでしょうか? 今年のきたネットフォーラムでは、北海道に住むわたしたちが、自然の中、暮らしの中で出会う可能性がある、さまざまな危険について、そのリスク回避のために、何ができるかを学びます。

お問い合わせ・お申込み

NPO法人北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

Tel.011-215-0148 Fax.011-215-0149

E-mail office@kitanet.org

「きたネットWeb」 <http://kitanet.org/> 詳細は裏面をご覧下さい。

[主催]NPO法人北海道市民環境ネットワーク／一般財団法人セブン-イレブン記念財団

[後援]札幌市(予定)

[協力]公益財団法人北海道新聞野生生物基金 環境中間支援会議・北海道(環境省北海道環境パートナーシップオフィス、公益財団法人北海道環境財団、札幌市環境プラザ(指定管理者:公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会)、NPO法人北海道市民環境ネットワーク)

人と  
野生  
生物  
距離  
離

離



一般財団法人  
セブン-イレブン記念財団